

## 令和2年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

令和4年1月25日  
地方競馬全国協会  
畜産振興部

地方競馬全国協会(以下「NAR」という。)では、畜産振興補助事業(以下「補助事業」という。)を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価(以下「事業評価」という。)する仕組みを導入し、客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会」(以下「評価委員会」という。委員名簿は下表参照。)を設置し、意見を聴取しています。

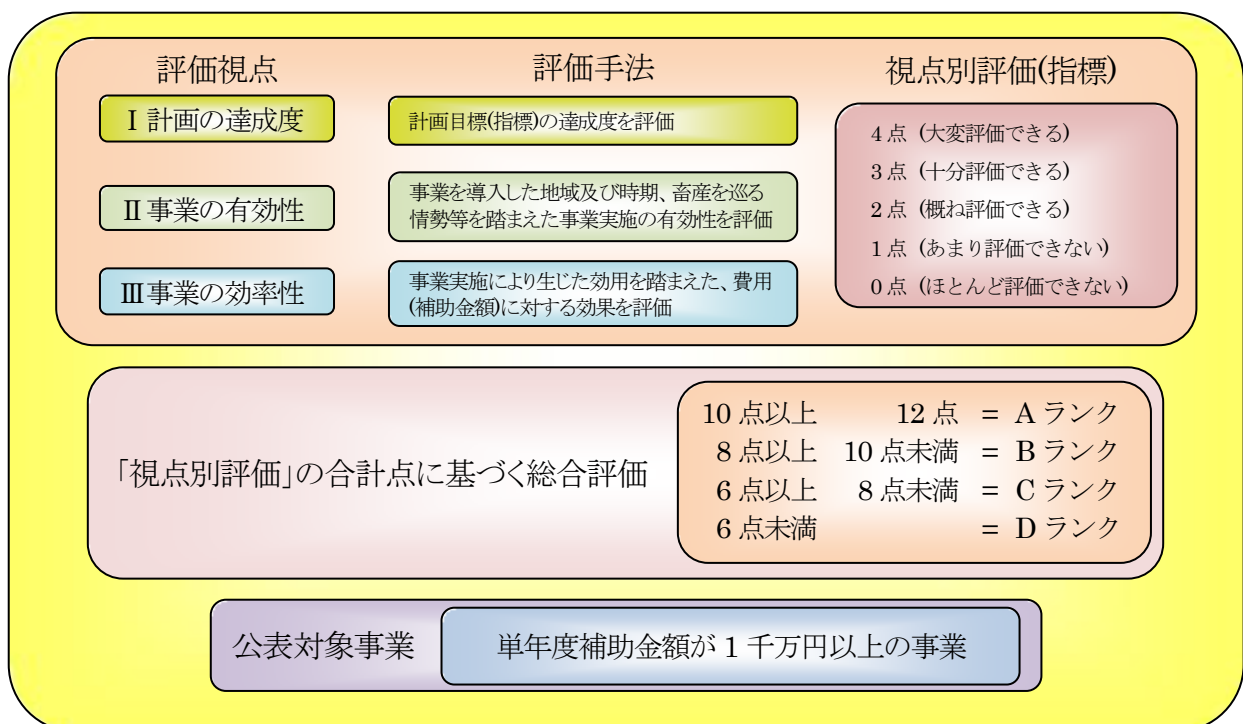
また、NAR は、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

令和3年度は、令和2年度に実施された補助事業(畜産振興事業:82 団体、事業件数 115 件、補助金額 1,042,400,000 円、競走馬生産振興事業:19 団体、事業件数 29 件、補助金額 2,025,751,959 円)を対象として事業評価を行い、今般その結果がまとまりましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 (敬称略・50音順)

委員氏名	所 属	役 職 名	備考
菅野 茂	国立大学法人 東京大学	名誉教授	
豊田 淳	国立大学法人 茨城大学	教授	
林 義隆	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部審査役	
松尾 昌一	一般社団法人 家畜改良事業団	専務理事	
松本 博紀	公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	業務部長	座長

図. 「評価の基準」



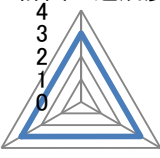
【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (1) 登録推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		技術料、登録推進費、登録業務普及啓発費、精液調査費、事業推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種馬登録規程		事業の目的	趣旨 血統登録及び事務の円滑化 実施方法 登録審査、実務者研究会等 受益対象者 農用馬の生産者等
	事業の内容	<p>農用馬の血統と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保等に寄与するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 種馬登録審査 …… 北海道、青森、岩手、島根、熊本及び宮崎の各道県における軌系馬を主体とした種馬登録を行った。 登録システムの改修: 交配予定の種雄馬と種雌馬の産駒の近交係数が確認できる「架空血統表システム」を構築し、日本馬事協会HPに掲載した。</p> <p>ii 登録実務者研究会 …… 種馬登録審査を厳正に行うため、馬の毛色及び特徴記載方法の講義並びに実馬審査による実務者研究会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため家畜改良センター十勝牧場(以下、十勝牧場という。)での開催を中止した。なお、新規登録審査委員(3名)に対しては、個別研修とした。</p> <p>iii 登録業務普及啓発 …… 登録申請等の簡便化や馬事知識の普及啓発を図るため、HPの情報の充実、馬事関係の情報を逐次更新し発信した。</p> <p>iv 馬精液調査 …… 今後の馬精液等の輸出入の円滑な実施に向け、調査員2名を海外(独・仏)に派遣する予定も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外渡航制限され中止した。それに代わり、仏国から凍結精液(ペルシュロン種: 416本)を試験輸入、十勝牧場にて輸入精液の検査及び受胎試験を行った。</p>			
	補助金額(千円)	評価年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
	57,051	55,448	79,555		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (2)農用種馬の導入		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		国内産種雄馬導入費における種雄馬購入費及びその他の経費 国内産種雌馬導入費、外国産種雌馬導入費、優良種雄馬適正配置費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種雄馬管理規程	事業の目的	趣旨	優良な農用種馬の購入、適正配置
	事業の内容	<p>ばんえい競馬の重賞勝ち馬等牽引能力の高い農用種雄馬及び基幹的品種の農用種雌馬の導入による資質向上と、種雄馬の飼養管理技術の向上を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 国内産種雄馬購入・・・ 公益社団法人日本馬事協会が定める農用種雄馬(ばんえい馬)選定基準により選定された種馬を購入した。 令和2年度は国内産馬として4頭を導入した。</p> <p>ii 外国産・国内産種雌馬購入・・・ 農用馬の改良増殖を推進するため、基幹的品種の外国産種雌馬や国内産種雌馬の購入と家畜改良センター十勝牧場及び農協連等への配置した。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外国産種雌馬の購買を取り止めた。 なお、内国産種雌馬15頭を購入した。 (独)家畜改良センター十勝牧場有借受種雄馬(純粋種)6頭を主要産地へ貸付けた。</p> <p>iii 優良種雄馬適正配置・・・</p> <p>iv 種雄馬管理指導・・・ 公益社団法人 日本馬事協会及び支部が主体となって行う、北海道、青森県、岩手県、島根県、熊本県、宮崎県に配置中の種雄馬についての管理状況の把握と、飼養管理者に対する管理技術の向上についての指導を行った。</p> <p>v 種雄馬名簿の発行・・・ 令和2年度に種畜検査を受検し、種畜証明書の交付を受けた種雄馬を収録した名簿の刊行と関係者への配布した。</p>			
補助金額 (千円)		評価年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		49,172	57,165	87,717	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (3) 農用種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	南幌農業協同組合 他25団体	
補助金等の名称	純粋種雌馬繁殖奨励費、農用種雌馬繁殖奨励費、ばんえい競馬出走馬繁殖奨励費 純粋種雌馬導入費、農用種雌馬導入費、ばんえい競馬出走馬導入費 推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 農用種雌馬の繁殖奨励金交付規程 農用種雌馬の貸付規程	事業の目的	趣旨	農用馬の改良及び生産振興
				実施方法	奨励金交付、導入費補助
				受益対象者	農用馬の生産者等
事業の内容	<p>農用馬の改良及び生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 純粋種雌馬繁殖奨励 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の農用種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき300千円以内)</li> <li>ii 農用種雌馬繁殖奨励 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の農用種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき280千円以内)</li> <li>iii ばんえい競馬出走馬繁殖奨励 地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき350千円以内)</li> <li>iv 純粋種雌馬導入費 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の農用種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき300千円以内)</li> <li>iv 農用種雌馬導入費 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の農用種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき280千円以内)</li> <li>vi ばんえい競馬出走馬導入費 地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき350千円以内)</li> </ul>				
補助金額(千円)	前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	31,222	31,016	50,316		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)      II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (4) 農用馬の繁殖奨励	事業実施主体名	上川生産農業協同組合連合会 他10団体	
補助金等の名称		種付奨励費、生産奨励費、優良種雄馬改良促進奨励費、優良種雌馬改良促進奨励費、 優良種雌馬保留奨励費、推進事務費			
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬保留奨励金交付規程	事業の目的	趣旨	農用馬の生産促進及び牽引能力の改良	
			実施方法	奨励金交付	
			受益対象者	農用馬の生産者等	
事業の概要	<p>農用馬の生産促進及び牽引能力の改良を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>①優良種雄馬繁殖奨励 種付奨励 …… 当該年に種付した種雄馬の飼養者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種種雄馬1頭につき…90千円以内 ○純粋種以外種雄馬1頭につき…50千円以内</p> <p>②子馬生産奨励 生産奨励 …… 当該年度で、(公社)日本馬事協会が行う血統登録を受けた農用馬の生産者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種 …… 子馬1頭につき44千円以内 ○純粋種以外… 子馬1頭につき43千円以内</p> <p>③改良促進奨励 i 優良種雄馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の父馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき43千円以内) ii 優良種雌馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の母馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき163千円以内)</p>				
補助金額(千円)	前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	104,322	109,907	132,919		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
		D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 馬事普及啓発推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		馬事普及特別対策事業費、馬事思想普及教材の配布事業費、馬事関係資料収集事業費、優良農用馬学術調査事業費、優良農用馬生産者表彰事業費、農用馬等生産振興事業費、共通事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	馬事知識の普及、生産技術等の継承、農用馬の資源確保
	事業の内容	〔事業実施主体〕 ・馬事普及特別対策事業実施要領 ・優良農用馬表彰実施要領		実施方法	馬事普及事業への経費助成、馬事普及資料作成、学術調査及び会議の実施、生産者賞の交付
		<p>農用馬の改良増殖、生産技術の向上、一般向けの馬事思想普及啓発、生産者の生産意欲の向上及び生産振興策検討のため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 馬事普及特別対策事業・・・ 地方競馬場及び畜産関係団体等が実施したイベント、生産集団等が実施した生産技術調査・研修及び生産技術調査・研究開発に対する経費助成した。 ※令和2年度は生産集団等が実施する共進会への助成は実績なし。</p> <p>ii 馬事思想普及教材配布事業・・・ 一般向け普及啓発用教材「馬のいろいろーパート3(馬の道具編)」を3000部作成し、既に作成した「パート1(馬のからだ)」及び「パート2(馬のからだをもっと知ろう!)」の増刷分と合わせて10,250部を配布した。</p> <p>iii 馬事関係資料収集事業・・・ 令和2年度は実績なし。</p> <p>iv 優良農用馬学術調査事業</p> <p>v 優良農用馬生産者表彰事業・・・ 馬の生産の指標となる3歳馬の基幹2競走(黒ユリ賞、イレネー記念)の出走馬の生産者(20頭:16名)及び優良農用馬(多産馬:1頭)の飼養者に対する表彰及び褒章金の交付 ※3月に帯広市内で表彰式典を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため取りやめ、表彰状の授与等について郵送等に対応した。</p> <p>vi 農用馬等生産振興事業・・・ 地域の実態に即した生産振興策を検討するためのブロック会議(北海道、東北、西日本)を開催した。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBで実施。</p>			
	補助金額(千円)	前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		35,646	29,127	53,515	
視点別評価					【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 優良農用馬生産奨励		事業実施主体名	帯広市
補助金等の名称		ばんえい競馬生産奨励費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱  〔事業実施主体〕 ・帯広市優良軌系馬生産奨励金交付要領	事業の目的	趣旨	農用馬(ばんえい競走馬)の資源確保
				実施方法	生産奨励金の交付
				受益対象者	農用馬の生産者等
事業の内容		<p>農用馬生産者の生産意欲を高めることにより、農用馬の生産頭数の現状傾向を抑制し、ばんえい競馬の競走馬の資源確保を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>生産奨励費 …… 当該年度ばんえい競馬の競走馬として新規登録し、かつ競走に出走した馬の生産者に対する生産者賞の交付(1走あたり10,000円を限度とする)</p> <p>(生産奨励金の交付)</p> <p>※本事業は、平成29年度まで「優良農用馬資源確保緊急特別対策」として(公社)日本馬事協会が実施していた。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		46,380	49,760	60,000	R3年度は奨励金単価引上(10,000⇒12,000円)
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 農用種馬施設等整備		事業実施主体名	函館市亀田農業協同組合、 都城農業協同組合	
補助金等の名称		機械施設等導入費、施設等整備費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱  [事業実施主体] 農用種馬施設等整備事業実施要領	事業の目的	趣旨	農用馬の生産振興、担い手確保	
				実施方法	リースによる機械施設導入、及び施設等整備	
				受益対象者	農用馬の生産農家	
事業の内容		農用馬の生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。(令和2年度から実施)				
①機械施設等導入		リースにより導入する機械施設等の導入に要する経費の一部を補助 ※函館市亀田農業協同組合 公益社団法人日本馬事協会が地方競馬全国協会の補助を受けて実施する「農用種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者が対象 (補助率:1/2)				
②施設等整備		農用馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助 ※函館市亀田農業協同組合 都城農業協同組合 農用馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、農用馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象 (補助率:1/3)				
補助金額(千円)		前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
			11,257	39,751		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		



【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会
補助金等の名称		畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度) 畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ①総括畜産コンサルタント資格試験実施要領 ②令和2年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領 ③令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領	事業の目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化
				実施方法	地域畜産協会への経営技術指導 総括畜産コンサルタント試験の実施 地域畜産協会業務の円滑化の推進 経営指導技術の向上 畜産関係団体の調整機能の強化等
				受益対象者	地域畜産協会 畜産農家、一般消費者等
事業の内容		<p>道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業          (道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業)          ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:10名、書類審査、面接試験、受験者22名、合格者10名)          ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(ブロック会議への派遣2回)          ・新任基礎研修(基礎編研修者21名:令和3年1月21日/WEB開催、          実践編研修者13名:令和2年10月5日/地方競馬教養センター)          ・経営支援従事者研修(研修者10名:令和3年1月28日~29日/WEB開催)          ・管理責任者等研修(研修者:延べ289名、計3回/都内会議室・WEB開催)          ・女性職員研修(研修者:80名/都内会議室・WEB開催)          ・農林水産省中央畜産技術研修会(派遣者数:12講座57名)(うち研修旅費一部補助者延べ15名)          ・経営指導成果普及検討事業(全国優良畜産経営管理技術発表会(令和2年11月25日))</p> <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業          (畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進)          ・畜産会等支援生産者組織整備事業(24団体:府県畜産協会等)          ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道県)          ・畜産経営相談窓口機能設置事業(51団体:道府県畜産協会等)          ・電算処理事業(畜産経営データベース及び畜特利子補給等電算処理関係業務の請負)          ・出版事業(月刊誌「畜産コンサルタント」、特別出版物の発行及びセミナーの開催)</p>			
補助金額(千円)		前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		144,396	133,999	197,630	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	(一社)北海道酪農畜産協会他全国45団体	
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費、馬事普及啓発推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化
	事業の内容	道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。			
		<p>ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページ等で広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業の実施</p> <p>イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等の推進や食育及びふれあい体験活動を通じた畜産の普及啓発、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした地域畜産物の活性化のための事業や、一般消費者への普及・PR活動、畜産物の安全かつ安定的供給に資する事業の実施</p> <p>ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた観戦ツアー、畜産フェア等のイベントの実施や、各種イベントにおける馬事振興などを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発を図ること等を目的とした事業の実施</p>			
補助金額(千円)	前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	391,645	429,999	515,361		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
	判定(ランク)	B	C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
D			視点別評価の合計点が6点未満		

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進		事業実施主体名		馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称		馬事畜産振興推進費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	畜産振興への寄与についてのPR 畜産物の消費拡大 地方競馬支援	
		[NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領			実施方法	冠競走への支援・畜産フェア等の実施	
					受益対象者	一般消費者等	
事業の内容		<p>地方競馬における畜産振興への取組をPRするため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 道府県関係費(地方競馬支援・畜産・畜産物の普及啓発) ・冠競走実施(81回)、畜産フェア等の開催(24回)及び競馬見学会等(12回)【馬事畜産地方協議会対応】</p> <p>ii 畜産フェア ・イベント(競馬の社会貢献性を普及啓発する資料と畜産物を提供) ①第32回ばんえいグランプリPR支援(帯広競馬場・8月・1,000セット・PRセット提供のみ) ②畜産フェアinばんえい十勝(帯広競馬場・3月・2,000セット) ・WEB畜産フェア(クイズ・アンケート回答者から抽選で畜産物等をプレゼント) ①ダービーシリーズキャンペーン、②ばんえい十勝キャンペーン</p> <p>iii 地方支援費(家畜に係わる伝統行事支援)平成30年度より実施 ・チャグチャグ馬コや相馬野馬追等、全国各地の家畜に係わる伝統行事(87団体)の保存活動を支援</p> <p>iv 地域畜産物の贈呈 ・ダートグレード競走等基幹競走21競走の優勝馬主等(22名) ・地方競馬シリーズ競走上位騎手(4名)</p> <p>v 地方競馬全国協会主催のWEBキャンペーンへの畜産物贈呈 ・Most Impressive Horse(お肉のギフト券3,000円分×200セット) ・女性騎手サイトオープン(畜産物を使ったスイーツ4,000円分×200セット)</p>					
補助金額(千円)	前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考			
	41,587	49,516	109,549				
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>					【評価項目】	
				I 計画の達成度			
				II 事業の有効性			
				III 事業の効率性(費用対効果)			
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (畜産物消費拡大支援緊急対策)		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会		
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	畜産振興への寄与についてのPR 畜産物の消費拡大	
		[NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領		実施方法	WEBキャンペーンによる畜産物の提供	
				受益対象者	和牛生産者等	
	事業の内容	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言の再発令により、対象地域において飲食店の営業時間短縮要請が行われ、外食産業で多く使用される和牛等の高価格帯畜産物の消費の落ち込みが懸念された。国の要請を受け、本事業により2月中旬から1か月間WEBキャンペーンを実施し、特設サイトでは全国の銘柄和牛と、地方競馬の畜産振興への取組を紹介した。</p> <p>1.畜産物消費拡大応援特設サイトの設置 2.広告宣伝(ポスター・チラシ制作、新聞広告等) 3.キャンペーン概要 3,000名様に8,000円相当(送料別)の銘柄和牛と、地方競馬オリジナルグッズをプレゼント (47都道府県77銘柄使用)</p>				
補助金額(千円)	前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考		
		49,482				
視点別評価				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	11	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和2年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (肥育馬畜産物流通円滑化緊急対策)		事業実施主体名	熊本県馬刺し安全・安心推進協議会	
補助金等の名称	販売促進奨励費、推進事務費				
事業の概要	根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】</p> <p>[NAR] (令和2年度)畜産振興事業補助実施要綱</p> <p>[事業実施主体] 肥育馬畜産物流通円滑化緊急対策事業実施要領</p>	事業の目的	趣旨	肥育馬畜産物(馬肉)の流通円滑化(販売促進)、馬肉文化の維持拡大
	事業の内容	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言の発令により、外食向けが主流である馬肉の需要が大幅に低下し、馬肉在庫が積み上がる事態が発生した。 このままでは農用馬の肥育経営や馬用と畜場の運営が行き詰まり、ひいては地方の馬産や我が国の特色ある食肉文化の壊滅的打撃が危惧されたことから、国からの要請を受け、肥育馬畜産物在庫の解消を図るための対策を講じたこととした。 具体的には協議会が馬肉を一時的に冷凍保管することにより、馬のと畜数の回復を図るとともに、インターネット販売など新たな販売方式・ルートの推進に取り組む者を対象に、月ごとの肥育馬畜産物売上数量の減少分(=対前年実績と比べた減少数量)が在庫として積み上がっていると見込み、これに100円/kgを乗じた額を販売促進奨励費として支援した。</p> <p>【主な販売促進支援活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地元新聞に広告を掲載し、消費拡大キャンペーンを実施</li> <li>○熊本市及び地元放送局との連携による熊本馬肉レシピコンテストを実施</li> <li>○熊本県が実施する地産地消フェアの景品として馬刺しを提供</li> <li>○学校給食の食材として馬肉を提供</li> <li>○協議会会員におけるインターネットを活用した販売促進</li> </ul>			
	補助金額(千円)	評価年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
			14,000		
視点別評価				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (1) 軽種馬の登録推進	事業実施主体名	公益財団法人 ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	
補助金等の名称		登録推進費、馬名登録業務費、マイクロチップ埋込推進費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程他	事業の目的	趣旨	登録及び事務の円滑化
	事業の内容	国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に対する国民の信頼確保ならびに国際相互理解の促進に寄与する目的のため、軽種馬の血統と個体識別を明確にし繁殖成績を記録、軽種馬を競走馬登録する過程で必須となる馬名の決定をするため、次に掲げる事業を実施した。 i 軽種馬登録業務 …… 実馬審査をもとにした軽種馬の血統・繁殖登録及び証明書を発行し、海外の血統書統括機関との連携を図った。 ii 馬名登録業務 …… 新規登録・馬名変更等について、規程に則り適正な審査を実施し、関係団体と馬名登録連絡会議を開催、相互連携の強化を図った。 iii マイクロチップ埋込事業 …… 生産地でのマイクロチップ埋込事業に要する一部経費について補助を行った。	実施方法	受益対象者	血統登録審査、馬名登録審査 軽種馬生産者、競走馬の馬主等
補助金額(千円)		前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		69,532	72,692	70,590	JRA:NAR=8:2
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (2) その他 優良2歳馬導入促進対策		事業実施主体名	北海道 他12地方競馬主催者		
補助金等の名称		付加賞金費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	競走馬の購買意欲を向上させ、生産地の活性化を推進する	
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱			実施方法	地方競馬2歳競走への付加賞金交付	
		[事業実施主体] 令和2年度(各事業主体名)優良2歳馬導入促進対策事業付加賞金交付規程			受益対象者	地方競馬馬主	
	事業の内容	事業主体毎に、2歳馬の競走体系を勘案(新馬優先)して競走数を定め、当該競走1着から3着(5着)の競走馬の馬主に対し、付加賞金を交付する事業を実施した。					
補助金額(千円)		前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考		
		208,401	222,550	292,510			
視点別評価					【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
判定(ランク)	B		D	視点別評価の合計点が6点未満			

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 競走馬の防疫衛生対策事業 (2)その他 競走馬防疫促進対策		事業実施主体名	公益社団法人中央畜産会
補助金等の名称		競走馬防疫促進対策事業費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	競走馬に対する馬自衛防疫体制の強化
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	競走馬防疫促進対策の検討会等の開催 馬伝染病予防接種費補助
		[事業実施主体] 公益社団法人中央畜産会競走馬防疫促進対策事業補助実施要領		受益対象者	地方競馬馬主等
	事業の内容		<p>H7年度に軽種馬の自衛防疫体制の確立を図るため「馬防疫促進緊急対策事業」として、旧社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会(以下「衛指協」という。)に基金が造成され、全国公営競馬馬主連合会(現日本地方競馬馬主振興協会(以下「日馬振」という。))が事業を実施していたところである。(当協会⇒衛指協⇒馬主会への間接補助)その後、衛指協が中央畜産会に合併(H21年度)されたため、中央畜産会に事業が継承されている。</p> <p>その後、平成31年度(令和元年度)に事業執行体制の内部見直しを行い基金を閉鎖し、令和2年度からは単年度補助方式として事業を実施している。</p> <p>令和2年度は、日馬振が実施する競走馬防疫促進対策の検討会等の開催に加え、日馬振の会員である各都道府県馬主会が行う伝染性疾病(馬インフルエンザ、日本脳炎、ゲタウイルス、破傷風)予防接種等に係る経費について間接補助している。</p> <p>また、「ばんえい競馬馬主協会」は日馬振の会員となっていないことから、「育成馬等の予防接種対策」として単独事業で実施した。</p>		
補助金額(千円)	前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	42,700	42,700	79,700	R3年度から馬鼻肺炎への接種経費を予算化した(35,400千円)	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	



【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 競走馬の防疫衛生対策事業 (2)その他 馬伝染性疾病蔓延防止 対策備蓄		事業実施主体名		全国公営競馬主催者協議会	
補助金等の名称		備蓄品購入費、推進事務費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 令和2年度馬伝染性疾病蔓延防止対策備蓄事業に係る備蓄資材取扱要領		事業の目的	趣旨	地方競馬における自衛防疫	
		実施方法	備蓄品の導入				
		受益対象者	地方競馬主催者				
事業の内容		<p>馬伝染性疾病(馬インフルエンザ、馬鼻肺炎ウイルスなど)の予防は、生産育成地及び競馬場入厩レベルでのワクチンプログラムにより予防対策が講じられているものの、万が一発生した場合に備えた自衛防疫のための初動体制の構築が求められている。 地方競馬サークル内における馬伝染性疾病発生時に即応し、蔓延防止の一助となるよう衛生物資を指定地域に備蓄した。 備蓄品(安全長靴、防護服、ヘアネット、使い捨てマスク、手袋、ゴーグル、家畜用消毒液、人用消毒液、馬インフルエンザ検査キット、滅菌綿棒、動力噴霧器(3年間保証付)、タイヤ消毒マット、踏み込み槽)</p>					
補助金額(千円)		前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考		
			26,956				
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】		
					<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			


【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (1) 軽種馬経営高度化指導研修 (軽種馬経営技術指導者養成・ 技術普及)		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称	研修費、巡回指導費、検討会開催費、データ収集提供費、技術普及費、生産地調査費、研修施設整備費、推進事務費、技術料				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	技術指導者養成、技術普及により、 軽種馬生産・経営の安定化を図る
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施 要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営 高度化指導研修事業実施要領		実施方法	各種研修会開催、技術普及指導
				受益 対象者	軽種馬生産者、軽種馬農協等
	事業の内容	<p>軽種馬生産専門技術指導者の養成および生産者、担い手等を対象とした研修、検討会の実施、養成した技術指導者による巡回指導、生産育成技術等に関するデータの収集・分析・提供等により、軽種馬生産・経営の安定化を図るため、以下の事業を実施した。</p> <p>令和2年度実績 1. 技術指導者養成研修 2. 生産者研修 3. 担い手研修 4. 研修受講支援 5. 検討会開催 6. データの収集・分析・提供 7. 生産者等に対する技術普及指導 8. 生産地調査 9. 研修センターの整備及び維持</p>			
	補助金額 (千円)	前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		110,238	91,058	126,000	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (2) 軽種馬経営高度化指導研修 (人材養成支援)	事業実施主体名	公益社団法人競走馬育成協会	
補助金等の名称		生産育成技術者海外派遣研修費、修学奨学金、生産育成牧場就業促進費、推進事務費			
事業の概要	根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】</p> <p>[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱</p> <p>[事業実施主体] 公益社団法人競走馬育成協会軽種馬経営高度化指導研修事業実施要領他</p>	事業の目的	趣旨	軽種馬生産育成技術者の養成 軽種馬生産育成牧場への就業支援
	事業の内容	<p>競走馬の生産育成牧場への就労を目指す若者、飼養管理及び生産育成技術の改善・向上を目指す牧場就労者等を対象として、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 海外派遣研修 …… 海外の先進的生産・育成技術習得のため海外(アイルランド・アメリカ)へ研修生の派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施を見合わせた。</p> <p>ii 修学奨学金交付 …… 生産育成者養成施設(日本軽種馬協会静内種馬場、軽種馬育成調教センター)の研修者8名に(対象:生活困窮者)に、返還義務のない給付型修学奨励金を交付した。 その後、途中退所により2名から返還を受けた。</p> <p>iii 就業促進支援 …… 「BOKUJOB」として、フェアの開催、Webサイト運営、牧場見学・体験会などを行い、就業促進を図った。 なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年実施していたフェアはWEB相談会に変更、牧場就業体験、研修は実施を見合わせた。</p>			
補助金額(千円)		前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		65,734	67,413	80,000	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>Ⅲ 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>Ⅱ 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>Ⅱ 事業の有効性</p> <p>Ⅲ 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (3) 優良繁殖馬導入促進 (優良種牡馬整備)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		種牡馬導入費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進(優良種牡馬整備)事業実施要領	事業の目的	趣旨	軽種馬生産の安定的維持・拡大 国際的に通用する強い馬づくり
		実施方法		優良種牡馬の導入、事前調査	
	受益対象者	軽種馬生産者			
事業の内容		<p>優良な種牡馬を海外から購入し、公的な立場から軽種馬生産者の種付け料負担を軽減、国際的に通用する強い馬づくりを支援し、優良な競走馬を安定的に生産できる体制を確保するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 事前調査の実施 …… 優良種牡馬導入を円滑に実施するため、海外の主要な軽種馬生産地域(英、愛、米、豪)において種牡馬資源の状況を事前調査した。</p> <p>ii 優良種牡馬の導入 …… ノーブルミッション号を導入した。</p>			
補助金額(千円)		前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		7,506	497,329	700,000	31年度は調査のみ
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	A	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (4) 優良繁殖馬導入促進 (優良繁殖牝馬整備)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		導入促進事業費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	軽種馬生産の安定的維持・拡大 国際的に通用する強い馬づくり
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	繁殖牝馬導入経費の一部補助
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進 (優良繁殖牝馬導入促進)事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者
	事業の内容	<p>軽種馬生産者が国内外の繁殖牝馬セールで優良繁殖牝馬を導入する際の購入経費の一部補助を実施した。補助率と実績は次のとおり。</p> <p>①担い手特認:補助率1/2 - 8頭 ②面積特認:1/2 - 7頭 ③未供用馬:1/3 - 6頭 ④その他:1/4- 39頭</p>			
補助金額 (千円)	前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	143,349	163,952	190,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】	
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

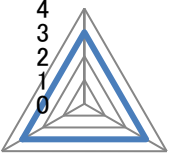
【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (5) 優良繁殖馬導入促進 (繁殖牝馬流通活性化)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会		
補助金等の名称	情報収集・提供費、広報活動費、推進事務費、技術料				
事業の概要	根拠 【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進(優良牝馬流通活性化)事業実施要領	事業の目的	趣旨	繁殖牝馬の市場上場促進	
			実施方法	セリ市場開設に係る経費の一部補助	
			受益対象者	繁殖牝馬セリ市場開設者	
	<p>現役引退した競走馬(牝馬)の市場上場を促進、繁殖牝馬の流通活性化を図るため、繁殖牝馬セリ市場の開設者に対し、上場馬や市場開催に係る各種情報提供、広報活動等について必要な経費の一部を補助した。</p> <p>i 繁殖牝馬市場開催 … 年2回の繁殖牝馬市場(榊Jエイエス繁殖馬セール秋季・冬季)にあわせて、セリ名簿を作成し馬主等に送付。また、Webサイト、メディア(競馬雑誌、グリーンチャンネル)等で開催を広く周知した。</p> <p>ii 馬主への広報活動 … ポスター・リーフレット・広告用PRチラシ等を作成し、現役を引退する繁殖牝馬のセリ市場への上場意欲を促進する啓蒙活動を実施した。</p>				
	補助金額 (千円)	前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		10,980	10,171	14,000	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (6) 軽種馬生産基盤整備対策		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		軽種馬生産基盤整備対策事業費(新規造成・拡大、既存草地更新、機械リース)、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬生産基盤整備対策事業実施要領		事業の目的	趣旨 放牧地の確保による軽種馬生産体質の強化
				実施方法	新規造成・草地更新等の取組みに係る経費の一部補助
				受益対象者	軽種馬生産者
事業の内容		<p>軽種馬生産構造の改善を支援するため、軽種馬生産者が、草地の適切な維持・管理を推進することで生産性の向上を図ること、また昼夜放牧に適した一定の放牧地面積を確保し、良質な牧草を通じて生産馬の資質向上を図ることを目的として、次に掲げる事業に対する経費の一部を補助した。</p> <p>① 新規造成・拡大 …… 狭隘な放牧地の拡充、遊休農地活用、採草地から放牧地への転換等により、昼夜放牧等に対応できる一定以上の面積を有する放牧地の整備や、良質な牧草を確保するための採草地の新規造成等を実施した。</p> <p>② 既存草地更新 …… 一定の面積を有する放牧地の再整備と牧柵、付帯設備の整備や、一定の面積を有する採草地の再整備等を実施した。</p> <p>③ 機械リース …… 軽種馬生産の担い手が、草地管理用の機械装置を補助付きリース(補助率1/3)他で導入する事業を実施した。</p>			
補助金額(千円)	前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	320,094	337,002	548,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (7) 競走馬海外流通促進	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会		
補助金等の名称	海外市場調査費、海外顧客誘致活動費、国内輸出環境整備費、推進事務費、技術料				
事業の概要	根拠 【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬海外流通促進事業実施要領	事業の目的	趣旨	国内生産馬の需要拡大	
			実施方法	海外市場調査、情報提供、海外顧客誘致、輸出環境整備	
			受益対象者	軽種馬生産者、国内外競馬関係者	
事業の内容	<p>海外向けに各種媒体を用いて情報を提供し日本産馬の秀逸性をアピールするとともに、海外の馬主・調教師の訪日購買を支援。また、検疫施設の維持・管理を通じて輸出環境の整備を行うなど、国内生産馬の販路拡大を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 海外市場及び取引調査 輸出に当たった問題点(契約、保険、諸費用等)の整理と解決方法を検討した。</p> <p>ii 海外顧客誘致活動 Webでの海外向け情報発信、海外プロモーション活動のほか、国内市場や生産地視察等に海外競馬関係者を招聘した。</p> <p>iii 軽種馬国内輸出環境の整備 海外購買者に対する購買環境(日本産馬の輸出環境)を整えるため、胆振地区にある輸出検疫施設の改修を実施した。</p>				
補助金額(千円)	前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考	
	83,882	69,035	86,000		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
		D	視点別評価の合計点が6点未満		



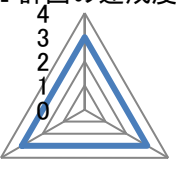
【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (8)競走馬のふるさと情報収集提供	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		情報収集提供費、生産地見学推進費、委託費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	競馬に対する理解増進及び地域振興
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	競走馬の生産地情報の提供(Web、生産地見学、現地案内所等)
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会競走馬のふるさと情報収集提供事業実施要領		受益対象者	一般市民(競馬ファン)等
事業の内容		<p>Webサイトによる情報の提供や北海道日高地区等に「競走馬のふるさと案内所」を6か所設置(日高、胆振、十勝、青森、千葉、鹿児島)し、生産地を訪れる競走馬・競馬ファン等に対して現地情報の提供や牧場見学案内等を行い、競馬の健全な発展や、生産者と一般市民をつなぐため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 情報収集提供 … 競走馬の生産地情報を収集し、Webサイトの運用、JBBANEWS等を通じて情報提供した。</p> <p>ii 生産地の見学推進 … 競走馬のふるさと案内所・連絡センターの運営(6か所)を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、馬産地見学ツアーは中止となった。</p>			
補助金額(千円)		前年度(H31実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		42,637	53,246	44,000	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>Ⅲ事業の効率性(費用対効果)</p> <p>Ⅱ事業の有効性</p>			【評価項目】	
				I 計画の達成度	
				Ⅱ 事業の有効性	
				Ⅲ 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (10) 軽種馬流通活性化		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会		
補助金等の名称		預託補助費、獣医学的馬体検査補助費、推進事務費、技術料					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	セリ市場の活性化及び軽種馬の流通促進	
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱			実施方法	セリ上場に係る費用の一部補助	
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬流通活性化事業実施要領			受益対象者	軽種馬生産者	
事業の内容		<p>市場取引の活性化と軽種馬流通を促進するため、セリ市場上場に係る費用(専門業者(コンサイナー)による育成調教や獣医学的馬体検査(レポジットリー))の一部補助を次のとおり実施した。</p> <p>i 馴致及び育成調教補助・・・セリ上場に関する専門的知識技術を有する者への上場馬預託に係る費用補助(補助率1/2)</p> <p>ii 馬体検査情報開示補助・・・セリ市場上場前の獣医学的馬体検査(四肢、両膝レントゲン・上部気道内視鏡検査)に係る費用補助(補助率1/2) ※馬体検査結果の情報開示が補助の条件</p>					
補助金額(千円)		前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考		
		167,916	162,445	178,000			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			

【令和2年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (11) 軽種馬経営継承者借換 資金融通		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		軽種馬経営継承者借換資金融通事業費(基金造成費)			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	軽種馬生産継承者の借入金償還軽減による軽種馬生産体質の強化
		[NAR] (令和2年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	基金造成し、融資機関への利子補給、債務保証に対する支援
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営継承者借換資金融通事業実施要領		受益対象者	長期低利資金を融通する融資機関(軽種馬生産継承者)
事業の内容		<p>本事業は、軽種馬生産者継承者が事業の継続をするための借入金償還軽減を目的として、平成30年度に基金造成を開始した。借入金償還が困難となっている軽種馬生産者の長期・低利の借換え資金(軽種馬経営継承資金)を融通する融資機関に対して利子補給を行うとともに、軽種馬経営継承資金が代位弁済となった場合その一部につき農業信用基金協会に交付金を交付するものである。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R元実績)	評価年度(R2実績)	今年度(R3計画)	備考
		200,000	200,000	200,000	
視点別評価					【評価項目】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>I 計画の達成度</li> <li>II 事業の有効性</li> <li>III 事業の効率性(費用対効果)</li> </ul>			
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		